インド学インド仏教史専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 ｾﾒｽﾀｰ	開講曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
インド学概論	アーリヤ人の宗教と生活	2	西村　直子	3	前期 水曜日 3講時	
インド学概論	ヴェーダ祭式を巡る議論とその展開	2	西村　直子	4	後期 水曜日 3講時	
インド仏教史概論	インド仏教史概説－その1－	2	桜井　宗信	3	前期 月曜日 1講時	
インド仏教史概論	インド仏教史概説－その2－	2	桜井　宗信	4	後期 月曜日 1講時	
パーリ語	パーリ語入門	2	西村　直子	3	前期 水曜日 5講時	
パーリ語	パーリ語講読	2	西村　直子	4	後期 水曜日 5講時	
チベット語	古典チベット語初級文法Ⅰ	2	桜井　宗信	3	前期 月曜日 2講時	
チベット語	古典チベット語初級文法Ⅱ	2	桜井　宗信	4	後期 月曜日 2講時	
インド学各論	祭式文献購読　ヴェーダ散文選	2	西村　直子	5	前期 木曜日 2講時	
インド学各論	祭式文献購読　ヴェーダ散文選	2	西村　直子	6	後期 木曜日 2講時	
インド仏教史各論	Deb ther sngon poの原典講読 Ⅰ	2	桜井　宗信	5	前期 月曜日 3講時	
インド仏教史各論	Deb ther sngon poの原典講読 Ⅱ	2	桜井　宗信	6	後期 月曜日 3講時	
インド学演習	ヴェーダ文献研究	2	西村　直子	5	前期 火曜日 5講時	
インド学演習	ヴェーダ文献研究	2	西村　直子	6	後期 火曜日 5講時	
インド仏教史演習	梵蔵対照によるJātakamālāの講読Ⅰ	2	桜井　宗信	5	前期 火曜日 2講時	
インド仏教史演習	梵蔵対照によるJātakamālāの講読 Ⅱ	2	桜井　宗信	6	後期 火曜日 2講時	

科目名：インド学概論／ Indological Studies (General Lecture)

曜日・講時：前期 水曜日 ３講時

セメスター：3 **単位数：**2

担当教員：西村　直子

コード：LB33301, **科目ナンバリング：**LHM-PHI203J, **使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

１．授業題目：アーリヤ人の宗教と生活

２．Course Title (授業題目)：Life and relgion of the Āryan people

３．授業の目的と概要： 本講義では，最古の『リグヴェーダ』(紀元前 1200 年頃編集固定）をはじめとする各ヴェーダ学派の諸文献に基づき，アーリヤ諸部族が持っていた宗教とその整備過程，並びに社会の変化を辿りながら，各学派，各文献ジャンルの特徴について概説する。できるだけ多くの原典翻訳に触れることによって，伝承実態の理解をも目指す。

４．Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course provides an overview of various Vedic texts, starting with the oldest one that dates back to 1200 B.C., the Rigveda. The aim is to get students aquainted with history and craracteristics of various Vedic schools and their primary texts in connection with the Āryans' religion, life and social development. Weekly readings of translated Vedas in class will help students see the successive nature of the Vedic religious tradition.

５．学修の到達目標：・当時の人々が世界をどのように理解していたかを，インド最古の宗教文献群ヴェーダ Veda の伝承に則して把握することができる。

・宗教儀礼および宗教文献の整備と社会の変化とが連動していることが理解できる。

６．Learning Goals(学修の到達目標)：Upon the completion of this course, students will be able to interpret the Āryans' views on life and death in line with the ancient Vedic tradition. They will also gain a better understanding of relations between the development of religion and social change.

７．授業の内容・方法と進度予定：

1. 授業の概要　インド学　サンスクリット語と印欧語族　インダス文明とアーリヤ人
2. アーリヤ人の宗教と生活１　ヴェーダ文献概説：　ヴェーダ学派と文献ジャンル，祭官組織
3. アーリヤ人の宗教と生活２　ヴェーダ祭式概説：　部族全体の繁栄を祈願する祭式と，部族長個人のライフステージに応じて行う祭式
4. アーリヤ人の宗教と生活３　移住遊牧生活から定住生活へ：　異部族との接触，祭官階級と王族階級（ヴァルナ［四姓］を巡る議論)，都市国家の成立（自由思想家達の台頭と仏教興起を視野に入れて）
5. リグヴェーダ　神々を讃える言葉の力１　文献の編集方針と祭官家系，伝承スタイル，世界の創造と人類の起源
6. リグヴェーダ　神々を讃える言葉の力２　インドラ讃歌
7. リグヴェーダ　神々を讃える言葉の力３　対話讃歌　プルーラヴァスとウルヴァシー
8. アタルヴァヴェーダ　呪法の伝統
9. ヤジュルヴェーダと祭式の整備１　祭官組織とヤジュルヴェーダ学派，マントラとブラーフマナ，祭式整備の過程
10. ヤジュルヴェーダと祭式の整備２　神々との相互関係，神話，神学議論
11. ヤジュルヴェーダと祭式の整備３　祭式整備に見る社会の変化
12. サーマヴェーダ　ソーマ祭が果たした役割：　大規模祭式と王権儀礼
13. 諸学派のブラーフマナ文献　神学議論と神話による権威付け
14. ウパニシャッド１　その位置づけと意義
15. ウパニシャッド２　神学者たちの論争

※上記は必要に応じて変更する場合がある。

８．成績評価方法：

課題提出（随時，40%)，レポート（60%）

９．教科書および参考書：

資料を配付する。参考書は授業で指示する。

Reading and reference materials will be distributed in class.

１０．授業時間外学習：講義の前には，前回までの講義内容の中に不明な点がなかったかを，プリントやノートで確認し，講義後には，その日の内容に不明な点がないかを確認する。不明な点があれば，メモしておくこと。特に，素朴と思えるようなものでも疑問は放置せず，質問してください。質問は歓迎します。

I would like you to review printed materials and your notes before and after class. Feel free to ask about any unclear points you discover, even if they seem trivial. I always welcome questions.

１１．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

１２．その他：

後期のインド学概論と併せて履修することが望ましい。

It is recommended that students combine this course with "Indological Studies (General Lecture)" in the second semester.

科目名：インド学概論／ Indological Studies (General Lecture)

曜日・講時：後期 水曜日 ３講時

セメスター：4 **単位数：**2

担当教員：西村　直子

コード：LB43301, **科目ナンバリング：**LHM-PHI203J, **使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

１．授業題目：ヴェーダ祭式を巡る議論とその展開

２．Course Title (授業題目)：History of discussions and approaches to Vedic rituals

３．授業の目的と概要：本講義では，アーリヤ人の宗教文献群「ヴェーダ」から，特に紀元前 800 年頃以降に順次編集された文献を中心に，当時の人々の死生観と後の仏教時代に確立した「業と輪廻」の思想とついて概説する。できるだけ多くの原典翻訳に触れ，アーリヤ諸部族の定住化に伴う社会の変化を個々の議論から理解することを目指す。

４．Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course introduces a bulk of religious texts gradually accumulated by the Āryan people since 800 B.C. The aim of the course is to help students understand views on life and death in the Vedic religion as well as development of 'karma' and 'saṁsāra' concepts during the era of Buddhism. Through weekly readings of translated Vedas in class students wil learn about social changes that accompanied the Āryan's transition from nomadic to sedentary life.

５．学修の到達目標：・当時の人々の死生観を，インド最古の宗教文献群ヴェーダ Veda の伝承に則して把握することができる。
・仏教時代に確立した「業と輪廻」の思想が，ヴェーダ以来の議論を背景としていることが理解できる。
・宗教儀礼及び神学議論の整備と社会の変化とが連動していることが理解できる。

６．Learning Goals(学修の到達目標)：Upon the completion of this course, students will be able to interpret the Āryans' views on life and death in line with the ancient Vedic tradition. They will also be able to discern the roots of such concepts as 'karma' and 'saṁsāra' in religious disputes around the Vedas. Finally, students will develop a better understanding of the interrelations between the development of religion and social change.

７．授業の内容・方法と進度予定：

1. なぜ祭式を行うのか１　祭式の目的とその変化
2. なぜ祭式を行うのか２　息子の獲得　胎児の発生説に論じられる家系の継続
3. なぜ祭式を行うのか３　なぜ地上に再生するのか　胎児の発生説に論じられる個人の継続
4. なぜ祭式を行うのか４　死後の世界　「再死」とその克服
5. なぜ祭式を行うのか５　エネルギーの循環と供物の循環
6. なぜ祭式を行うのか６　受け継がれてゆく「私」　五火二道説
7. 自己の原理と宇宙の原理１　シャーンディリヤの梵我同一説
8. 自己の原理と宇宙の原理２　ウッダーラカ・アールニの「有」の教説
9. 自己の原理と宇宙の原理３　ヤージュニャヴァルキヤのアートマン論
10. 祭式からの離陸１　自由思想家たちの時代とブッダ　沙門果経
11. 祭式からの離陸２　輪廻からの解脱　不死の門
12. 祭式からの離陸３　祭官階級，王族階級，法律の整備
13. ヴェーダ補助学の伝統と展開１　法律文献の登場
14. ヴェーダ補助学の伝統と展開２　文法学と諸分野の学問，哲学，医学，文学等
15. 宗教と社会との連動　共同体と個人

※上記は必要に応じて変更する場合がある。

８．成績評価方法：

課題提出（随時，40%），レポート（60%）

９．教科書および参考書：

資料を配付する。参考書は授業で指示する。

Reading and reference materials will be distributed in class.

１０．授業時間外学習：講義の前には，前回までの講義内容の中に不明な点がなかったかを，プリントやノートで確認し，講義後には，その日の内容に不明な点がないかを確認する。不明な点があれば，メモしておくこと。特に，素朴と思えるようなものでも疑問は放置せず，質問してください。質問は歓迎します。

I would like you to review printed materials and your notes before and after class. Feel free to ask about any unclear points you discover, even if they seem trivial. I always welcome questions.

１１．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

１２．その他：

原則として，前期のインド学概論の履修者であること。

The course is aimed primarily at the students that completed Indological Studies (General Lecture) in the first semester.

科目名：インド仏教史概論／ History of Indian Buddhism (General Lecture)

曜日・講時：前期 月曜日 １講時

セメスター：3 **単位数：**2

担当教員：桜井　宗信

コード：LB31101, **科目ナンバリング：**LHM-PHI204J, **使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

１．授業題目：インド仏教史概説－その１－

２．Course Title（授業題目）：Outline of Indian Buddhist History 1

３．授業の目的と概要： 釈尊（紀元前５世紀頃）に始まるインド仏教史の大まかな流れを理解するとともに，初期仏教の思想とその展開の一端を中期中観派の段階まで把握することを目指す。

４.Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The purpose of this course is to help students understand the outline of the Indian Buddhist history from the life and thougt of Śākyamuni to the middle Mādhyamika.

５．学修の到達目標：釈尊から中期中観派までのインド仏教に関する基礎知識を習得する。

６．Learning Goals(学修の到達目標)：This course is designed to provide students with basic knowledge on early Buddhism focusing mainly on the thought of Śākyamuni to the middle Mādhyamika.

７．授業の内容・方法と進度予定：

○ オンデマンド型オンライン授業で実施の予定

1. 序論：仏教成立時代の社会と思想の概略
2. 釈尊の生涯と主な事蹟
3. 初期仏教の思想-１-
4. 初期仏教の思想-２-
5. 初期教団とその分裂
6. 『倶舎論』を中心とした説一切有部の思想-１-
7. 『倶舎論』を中心とした説一切有部の思想-２-
8. 大乗仏教の勃興
9. 初期大乗経典-１-
10. 初期大乗経典-２-
11. ナーガールジュナの思想-１-
12. ナーガールジュナの思想-２-
13. 瑜伽行唯識派の思想-１-
14. 瑜伽行唯識派の思想-２-
15. 中期中観派の思想

８．成績評価方法：

レポート ［100%］

９．教科書および参考書：

教科書は使用せず，教員が作成したプリント（場合によっては動画資料も）を配布。

１０．授業時間外学習：レポート作成の準備も兼ねて，講義内で関心を持った事柄に関して参考書を使ってより深く調べてみる。

１１．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

１２．その他：

最初の授業において参考書，及びレポートの提出方法等について説明する。

なお，参考書は授業において随時追加紹介を行う。

科目名：インド仏教史概論／ History of Indian Buddhism (General Lecture)

曜日・講時：後期 月曜日 １講時

セメスター：4 **単位数：**2

担当教員：桜井　宗信

コード：LB41101, **科目ナンバリング：**LHM-PHI204J, **使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

１．授業題目：インド仏教史概説－その２－

２．Course Title (授業題目)：Outline of Indian Buddhist History 2

３．授業の目的と概要： インド仏教における「密教」の占める位置とその意味について学んだのち，基本的な専門用語にも留意しながら，初期から後期まで史的展開に従って「インド密教の概略」を把握し，併せてインド密教と密接な繋がりを持っていたチベット仏教史の概略をも理解することを目指す。

４．Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The aims of this course are to

1. Understand the meaning of the Buddhist Tantrism in Indian Buddhist history.
2. Learn about the outline of the history of Indian and Tibetan Tantric Buddhism.
3. Grasp the fundamental Indian Tantric Buddhist technical terms.

５．学修の到達目標：インド密教の史的展開と思想に関する基礎知識を習得する。

６．Learning Goals(学修の到達目標)：Students will develop basic knowledge of historical development and thought on the Indian Tantric Buddhism.

７．授業の内容・方法と進度予定：

1. 序論：インド密教とは何か
2. 初期インド密教 －１－
3. 初期インド密教 －２－
4. 初期インド密教 －３－
5. 中期インド密教 －１－
6. 中期インド密教 －２－
7. 中期インド密教 －３－
8. 後期インド密教 －１－
9. 後期インド密教 －２－
10. 後期インド密教 －３－
11. 後期インド密教 －４－
12. 後期インド密教 －５－
13. 後期インド密教 －６－
14. チベット密教 －１－
15. チベット密教 －２－

８．成績評価方法：

レポート ［100％］

９．教科書および参考書：

教科書は使用せず，教員が作成したプリント（場合によっては動画資料も）を配布。
参考書は，授業時に随時紹介する。

１０．授業時間外学習：レポート作成の準備も兼ねて，講義内で関心を持った事柄に関して参考書を使ってより深く調べてみる。

１１．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

１２．その他：

「インド仏教史概説―その１―の既習者であること」を履修の原則とする。

科目名：パーリ語／ Pali

曜日・講時：前期 水曜日 ５講時

セメスター：3 **単位数：**2

担当教員：西村　直子

コード：LB33501,　**科目ナンバリング：**LHM-PHI212J,　**使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

１．授業題目：パーリ語入門

２．Course Title（授業題目）：Introduction to Pāli language

３．授業の目的と概要：サンスクリット文法を基に，パーリ語への歴史的変化に注目しながら，基本事項を学ぶ。　Geiger, A Pāli Grammar を参考にする。その後，Anderson, A Pāli Reader を用い，具体的テキストに即して，文法事項を確認しながら原典を読む。前期はブッダの前生譚である「ジャータカ」を扱う。必要な参考書，研究文献をその都度確認しながら，合理的な訓練に努める。

４．Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course introduces essentials of Pāli grammar, placing emphasis on morphological and phonological changes of Pāli language from Sanskrit. It also enhances the development of students' skill in reading Pāli texts. Students will read some tales of Buddha's previous life (Jātaka) with ANDERSEN: A Pāli Reader with GEIGER－NORMAN: A Pāli Grammar.

５．学修の到達目標：サンスクリット語の知識を基にパーリ語文献の研究に必要な能力を身につける。

６．Learning Goals(学修の到達目標)：Students will be able to acquire essential reading skills in Pāli based on Sanskrit Grammar.

７．授業の内容・方法と進度予定：

１　イントロダクション（教科書及び参考書について，取り上げる題材の概要，予習の進め方，授業の進め方等について説明）
２　「スンスマーラ・ジャータカ」　(1)
３　同　(2)
４　同　(3)
５　同　(4)
６　「バカ・ジャータカ」(1)
７　同　(2)
７　同　(3)
８　同　(4)
９　「シーハチャンマ・ジャータカ」
１０　「ササ・ジャータカ」(1)
１２　同　(2)
１３　同　(3)
１４　同　(4)
１５　同　(5)

８．成績評価方法：

授業への準備状況（40%）および授業で示される理解度（60%）

９．教科書および参考書：

Geiger－Norman, A Pāli Grammar, D. Anderson, A Pāli Reader。後者は大学に必要部数が揃っているが，自分で持っていても後まで役立つ。辞書，参考書等は授業の進行とともに紹介する。簡単な文法概要を作ってコピーを配布する。

１０．授業時間外学習：授業は，最初はゆっくり進めるが，後半ではある程度の量を読み進めることを目標にする。受講者は，可能な範囲でよいので，単語を調べ，語形を確定し，訳すように努力すること。予習が難しい場合は，授業内容をしっかりノートに書き込み復習すること。

１１．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

１２．その他：

初級サンスクリット語の既習者であることが望ましい。４セメスターのパーリ語と併せて履修することが望ましい。

科目名：パーリ語／ Pali

曜日・講時：後期 水曜日 ５講時

セメスター：4 **単位数：**2

担当教員：西村　直子

コード：LB43501,　**科目ナンバリング：**LHM-PHI212J,　**使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

１．授業題目：パーリ語講読

２．Course Title（授業題目）：Pāli Reading

３．授業の目的と概要：文法事項，シンタクス，仏教用語などについて，繰り返し復習確認しながら，Anderson の Reader から抜粋して読む。ジャータカ，ブッダの伝記，ダンマパダ，ミリンダパンハーなど，言語と内容の両面を大切にして取り組む。

４．Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In this course, students will read some chapters of ANDERSEN: A Pāli Reader, e.g. Jātaka, Buddha’s life story, Dhammapada, Milindapañha, etc. The course also helps students deepen their understanding both the grammatical points and that of the history of Buddhism.

５．学修の到達目標：前期に習得した能力を基に，比較的明晰な原典を選び購読する。あわせて仏教文献に馴染む訓練をする。

６．Learning Goals(学修の到達目標)：Students will be able to acquire intermediate reading skills in Pāli.

７．授業の内容・方法と進度予定：

１　「マタカバッタ･ジャータカ」(1)
２　同　(2)
３　同　(3)
４　同　(4)
５　「ブッダの誕生」(1)
６　同　(2)
７　同　(3)
８　同　(4)
９　「四門出遊」(1)
１０　同 (2)
１１　同 (3)
１２　同 (4)
１３　『ダンマパダ』より
１４　『ミリンダパンハー』より(1)
１５　同　(2)

８．成績評価方法：

授業への準備状況（40%）および授業で示される理解度（60%）

９．教科書および参考書：

Geiger－Norman, A Pāli Grammar, D. Anderson, A Pāli Reader。後者は大学に必要部数が揃っているが，自分で持っていても後まで役立つ。辞書，参考書等は授業の進行とともに紹介する。簡単な文法概要を作ってコピーを配布する

１０．授業時間外学習：受講者は単語を調べ，語形を確定し，訳すように努力すること。予習が難しい場合は，授業内容をしっかりノートに書き込み復習すること。

１１．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:″〇″Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

１２．その他：

３セメスターのパーリ語を受講していることが望ましい。初級サンスクリット語の既習者であることが望ましい。

科目名：チベット語／ Tibetan

曜日・講時：前期 月曜日 ２講時

セメスター：3 **単位数：**2

担当教員：桜井　宗信

コード：LB31204,　**科目ナンバリング：**LHM-PHI213J,　**使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

１．授業題目：古典チベット語初級文法Ⅰ

２．Course Title（授業題目）：Classical Tibetan Grammar

３．授業の目的と概要：　チベット文字の読み方・書き方に始まる古典チベット語文法への入門講座。
教科書の例文に施されている適切な邦訳が，どうしてそのように訳せるのかを自ら吟味することで，読解力の養成を計る。

４．Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This is an introductory course on the classical Tibetan grammar beginning with the method of pronuncing and writing the Tibetan letters.

５．学修の到達目標：(1) チベット文字とその正書法を理解し，正しく音読出来るようになる。
(2) 古典チベット語初級文法の基礎事項を習得する。

６．Learning Goals(学修の到達目標)：The goals of this course are to
1. Learn the pronunciation and orthography of Tibetan letters, and read aloud the Tibetan texts correctly.
2. Obtain the fundamental knowledge of basic classical Tibetan grammar.

７．授業の内容・方法と進度予定：

1. チベット文字発音法・正書法-１-
2. チベット文字発音法・正書法-2-
3. チベット文字発音法・正書法-3-
4. 古典チベット語初級文法-１-
5. 古典チベット語初級文法-2-
6. 古典チベット語初級文法-3-
7. 古典チベット語初級文法-4-
8. 古典チベット語初級文法-5-
9. 古典チベット語初級文法-6-
10. 古典チベット語初級文法-7-
11. 古典チベット語初級文法-8-
12. 古典チベット語初級文法-9-
13. 古典チベット語初級文法-１0-
14. 古典チベット語初級文法-１1-
15. 古典チベット語初級文法-１2-

８．成績評価方法：
授業・発表への取り組み（100%）

９．教科書および参考書：
藤田光寛：『古典チベット語文法』(非売品；初回時に配布の予定)

１０．授業時間外学習：予習時には教科書記載チベット文字例文の音読練習を行い，復習時には新出事項の確認-発音法・正書法学習時には各文字の発音・書取練習，文法学習時には新出チベット語単語や重要文法用語の記憶など-を行う。

１１．実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

１２．その他：
【重要】　原則として「インド学仏教史専修」所属の学生のみ履修可。

科目名：チベット語／ Tibetan

曜日・講時：後期 月曜日 ２講時

セメスター：4 **単位数：**2

担当教員：桜井　宗信

コード：LB41202,　**科目ナンバリング：**LHM-PHI213J,　**使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

１．授業題目：古典チベット語初級文法Ⅱ

２．Course Title（授業題目）：Classical Tibetan Grammar & Reading

３．授業の目的と概要：　主にチベット人学僧 Tāranātha の著した『インド仏教史』の訳読を行い，チベット語資料の文献研究に必要な基礎的語学力を養成することを目的とする。但し前期における進度によっては，文法事項の補足を先ず行う場合がある。

４．Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In this course, students will translate rGya gar chos ’byung (History of Indian Buddhism) by Tāranātha into Japanese, so that they can get the basic ability of reading classical Tibetan literatures which is necessary for the philological study of Tibetan books.

５．学修の到達目標：「歯応えのある」文章を相手にして，辞書の利用法の訓練も兼ねた充分な予習を行うことにより，古典チベット語で著された文献の読解力の深化を図る。

６．Learning Goals(学修の到達目標)：This course aims to improve the students’ ability to read classical Tibetan literatures, by wrestling rather tough text and also by preparing for the assigned part in refering intensively to dictionaries.

７．授業の内容・方法と進度予定：

1. 『インド仏教史』訳読-１-
2. 『インド仏教史』訳読-2-
3. 『インド仏教史』訳読-3-
4. 『インド仏教史』訳読-4-
5. 『インド仏教史』訳読-5-
6. 『インド仏教史』訳読-6-
7. 『インド仏教史』訳読-7-
8. 『インド仏教史』訳読-8-
9. 『インド仏教史』訳読-9-
10. 『インド仏教史』訳読-１0-
11. 『インド仏教史』訳読-１1-
12. 『インド仏教史』訳読-１2-
13. 『インド仏教史』訳読-１3-
14. 『インド仏教史』訳読-１4-
15. 『インド仏教史』訳読-１5-

８．成績評価方法：

授業・発表への取り組み（100%）

９．教科書および参考書：

1. 短い笑話１編

2. Tāranātha：『インド仏教史』（いずれもコピーを配布する）

１０．授業時間外学習：予習時に辞書を用いながら自らテクストの翻訳を行い，授業で発表出来るように準備する。

１１．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:″○″Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

１２．その他：

【重要】 原則として「インド学仏教史専修」所属の学生，及び前期で「チベット語」を履修した文学部生のみ履修可。

また「リアルタイム型オンライン形式」での実施を予定。

科目名：インド学各論／ Indological Studies (General Lecture)

曜日・講時：前期 木曜日 ２講時

セメスター：5 **単位数：**2

担当教員：西村　直子

コード：LB54201,　**科目ナンバリング：**LHM-PHI303J,　**使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

１．授業題目：祭式文献購読　ヴェーダ散文選

２．Course Title (授業題目)：Vedic literature.

３．授業の目的と概要：本講義では『マイトラーヤニー サンヒター』 I 5,12 (B.C. 800 頃以降)「昼夜の起源」等の諸神話を取り上げ，読解演習を行う。講読を通じて，文献学の具体的方法習得に努める。Von Schroeder が校訂した Maitrāyaṇī Saṁhitā をテキストとして，Mayrhofer: Etymologisches Wörterbuch des Altindoarischen, Gotō: Old Indo－Aryan Morphology, MacDonell: Vedic Grammar for

４．Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In this course, students will read Maitrāyaṇī Saṁhitā I 5,12 etc. The course provides students with essential discipline in Indian philology. It also help students learn about grammar, vocabulary, and syntax of Sanskrit as well as the Veda.

５．学修の到達目標：　ヴェーダ文献及び祭式に関する知識を習得し，ヴェーダの散文が読めるようになる。

６．Learning Goals(学修の到達目標)：By the end of this course, students will be able to

1. acquire fundamental skills of philological study through with reading of the Brāhmaṇa.
2. achieve essential knowledge to understand the origin of religion, culture, and language in India.

７．授業の内容・方法と進度予定：

１　イントロダクション（テキスト及び参考書について，取り上げる題材の概要，予習の進め方，授業の進め方等について説明）

２－１５　Maitrāyaṇī Saṁhitā I 5,12 etc.

８．成績評価方法：

授業への準備状況 (30%)，授業で示される理解度 (70%)

９．教科書および参考書：

Maitrāyaṇī Saṁhitā (Ed. von Schroeder)；Mayrhofer: Etymologisches Wörterbuch des Altindoarischen, Gotō: Old Indo－Aryan Morphology,　Macdonell: Vedic Grammar for Student; Delbrück: Altindische Syntax; Whitney: Sanskrit Grammar 等。

１０．授業時間外学習：授業は，最初はゆっくり進めるが，後半ではある程度のスピードで読み進めることを目標にする。受講者は，可能な範囲でよいので，単語を調べ，語形を確定し，訳すように努力すること。予習が難しい場合は，授業内容をしっかりノートに書き込み復習すること。

Students are required to prepare for the assigned part of the designated textbook for each class. They are also required to make a thorough review.

１１．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

１２．その他：

履修にはサンスクリット語初級の知識を必要とする。

Knowledge of essential Sanskrit Grammar is prerequisite.

科目名：インド学各論／ Indological Studies (General Lecture)

曜日・講時：後期 木曜日 ２講時

セメスター：6 **単位数：**2

担当教員：西村　直子

コード：LB64202,　**科目ナンバリング：**LHM-PHI303J,　**使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

１．授業題目：祭式文献購読　ヴェーダ散文選

２．Course Title (授業題目)：Vedic literature.

３．授業の目的と概要：本講義では『タイッティリーヤ・サンヒター』 II 6,6 (B.C. 750 頃以降)「アグニの逃避」等の諸神話を取り上げ，読解演習を行う。講読を通じて，文献学の具体的方法習得に努める。Weber が校訂した Taittirīya-Saṁhitā をテキストとして，Mayrhofer: Etymologisches Wörterbuch des Altindoarischen, Gotō: Old Indo－Aryan Morphology, MacDonell: Vedic Grammar for Student

４．Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In this course, students will read Taittirīya-Saṁhitā II 6,6 etc. The course provides students with essential discipline in Indian philology. It also help students learn about grammar, vocabulary, and syntax of Sanskrit as well as the Veda.

５．学修の到達目標：　ヴェーダ文献及び祭式に関する知識を習得し，ヴェーダの散文が読めるようになる。

６．Learning Goals(学修の到達目標)：By the end of this course, students will be able to

1. acquire fundamental skills of philological study through with reading of the Brāhmaṇa.
2. achieve essential knowledge to understand the origin of religion, culture, and language in India.

７．授業の内容・方法と進度予定：

１　イントロダクション（テキスト及び参考書について，取り上げる題材の概要，予習の進め方，授業の進め方等について説明）

２－１５　Taittirīya-Saṁhitā II 6,6 etc.

８．成績評価方法：

授業への準備状況（30%），授業で示される理解度（70%）

９．教科書および参考書：

Taittirīya-Saṁhitā (Ed. Weber); Mayrhofer: Etymologisches Wörterbuch des Altindoarischen, Gotō: Old Indo－Aryan Morphology,　Macdonell: Vedic Grammar for Student; Delbrück: Altindische Syntax; Whitney: Sanskrit Grammar 等。

１０．授業時間外学習：授業は，最初はゆっくり進めるが，後半ではある程度のスピードで読み進めることを目標にする。受講者は，可能な範囲でよいので，単語を調べ，語形を確定し，訳すように努力すること。予習が難しい場合は，授業内容をしっかりノートに書き込み復習すること。

Students are required to prepare for the assigned part of the designated textbook for each class. They are also required to make a thorough review.

１１．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

１２．その他：

履修にはサンスクリット語初級の知識を必要とする。

Knowledge of essential Sanskrit Grammar is prerequisite.

科目名：インド仏教史各論／ History of Indian Buddhism (Special Lecture)

曜日・講時：前期 月曜日 ３講時

セメスター：5 **単位数：**2

担当教員：桜井　宗信

コード：LB51302,　**科目ナンバリング：**LHM-PHI304J,　**使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

１．授業題目：Deb ther sngon po の原典講読 Ⅰ

２．Course Title（授業題目）：Deb ther sngon po ： reading

３．授業の目的と概要：Deb ther sngon po は ḥGos 翻訳官 gShon nu dpal (1392-1481)の手になる著名な仏教史書であり，インド・チベット全般をその視野に入れた幅広い内容を有することで知られており，多くの考究に論拠を提供して来た。本授業では釈尊の生涯（仏伝）を扱うその第１章の講読を通じて，インドからチベットへ伝えられた仏伝に関する基本的な知識を学ぶとともに「蔵外文献」を読みこなす上で必要となる古典チベット語読解能力の向上を図る。

４．Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：By intensive reading of the Deb ther sngon po(Ch.1) by ḥGos lo tsā ba gShon nu dpal, which is one of the most famous works of Indo-Tibetan Buddhist history, this course helps students learn about basic knowledge of the legendary biography of Śākyamuni transmitted from India to Tibet, and deepen the ability of digesting native Tibetan Buddhist literatures in classical written Tibetan.

５．学修の到達目標：チベット仏教における仏伝理解の一端を学ぶとともに，チベット語仏典読解力を向上させる。

６．Learning Goals(学修の到達目標)：Students will acquire the fundamental knowledge of the legendary biography of Śākyamuni in Tibetan Buddhism, and develop the skills of reading classical Tibetan Buddhist literatures.

７．授業の内容・方法と進度予定：

1. Deb ther sngon po 講読-1-
2. Deb ther sngon po 講読-２-
3. Deb ther sngon po 講読-３-
4. Deb ther sngon po 講読-4-
5. Deb ther sngon po 講読-5-
6. Deb ther sngon po 講読-6-
7. Deb ther sngon po 講読-7-
8. Deb ther sngon po 講読-8-
9. Deb ther sngon po 講読-9-
10. Deb ther sngon po 講読-１0-
11. Deb ther sngon po 講読-１1-
12 Deb ther sngon po 講読-１2-
13. Deb ther sngon po 講読-１3-
14. Deb ther sngon po 講読-１4-
15. Deb ther sngon po 講読-１5-

８．成績評価方法：

授業・発表への取り組み（100%）

９．教科書および参考書：

〇チベット語テクスト：The Blue Annals, International Academy of Indian Culture,1974（コピーを配布する）

〇英訳：Roerich,G.N. The Blue Annals, Royal Asiatic Society of Bengal, 1949-53

１０．授業時間外学習：予習時にテクストの訳読を行い，復習時に新出術語や語法の確認を行う。

１１．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

１２．その他：

・インド学仏教史専修所属学生のみ履修可。
・講読するテクストは受講生との相談により変更の可能性がある。
・事情により「リアルタイム型オンライン形式」で実施する場合がある。

科目名：インド仏教史各論／ History of Indian Buddhism (Special Lecture)

曜日・講時：後期 月曜日 ３講時

セメスター：6 **単位数：**2

担当教員：桜井　宗信

コード：LB61302,　**科目ナンバリング：**LHM-PHI304J,　**使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

１．授業題目：Deb ther sngon po の原典講読 Ⅱ

２．Course Title（授業題目）：Deb ther sngon po ： reading

３．授業の目的と概要：Deb ther sngon po は ḥGos 翻訳官 gShon nu dpal (1392-1481)の手になる著名な仏教史書であり，インド・チベット全般をその視野に入れた幅広い内容を有することで知られており，多くの考究に論拠を提供して来た。本授業では釈尊の生涯（仏伝）を扱うその第１章の講読を通じて，インドからチベットへ伝えられた仏伝に関する基本的な知識を学ぶとともに「蔵外文献」を読みこなす上で必要となる古典チベット語読解能力の向上を図る。

４．Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：By intensive reading of the Deb ther sngon po(Ch.1) by ḥGos lo tsā ba gShon nu dpal, which is one of the most famous works of Indo-Tibetan Buddhist history, this course helps students learn about basic knowledge of the legendary biography of Śākyamuni transmitted from India to Tibet, and deepen the ability of digesting native Tibetan Buddhist literatures in classical written Tibetan.

５．学修の到達目標：チベット仏教における仏伝理解の一端を学ぶとともに，チベット語仏典読解力を向上させる。

６．Learning Goals(学修の到達目標)：Students will acquire the fundamental knowledge of the legendary biography of Śākyamuni in Tibetan Buddhism, and develop the skills of reading classical Tibetan Buddhist literatures.

７．授業の内容・方法と進度予定：

1. Deb ther sngon po 講読-1-
2. Deb ther sngon po 講読-２-
3. Deb ther sngon po 講読-３-
4. Deb ther sngon po 講読-4-
5. Deb ther sngon po 講読-5-
6. Deb ther sngon po 講読-6-
7. Deb ther sngon po 講読-7-
8. Deb ther sngon po 講読-8-
9. Deb ther sngon po 講読-9-
10. Deb ther sngon po 講読-１0-
11. Deb ther sngon po 講読-１1-
12 Deb ther sngon po 講読-１2-
13. Deb ther sngon po 講読-１3-
14. Deb ther sngon po 講読-１4-
15. Deb ther sngon po 講読-１5-

８．成績評価方法：

授業・発表への取り組み（100%）

９．教科書および参考書：

〇チベット語テクスト：The Blue Annals, International Academy of Indian Culture,1974（コピーを配布する）

〇英訳：Roerich,G.N. The Blue Annals, Royal Asiatic Society of Bengal, 1949-53

１０．授業時間外学習：予習時にテクストの訳読を行い，復習時に新出術語や語法の確認を行う。

１１．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

１２．その他：

・インド学仏教史専修所属学生のみ履修可。
・講読するテクストは受講生との相談により変更の可能性がある。
・事情により「リアルタイム型オンライン形式」で実施する場合がある。

科目名：インド学演習／ Indological Studies (Seminar)

曜日・講時：前期 火曜日　５講時

セメスター：5 **単位数：**2

担当教員：西村　直子

コード：LB52504,　**科目ナンバリング：**LHM-PHI311J,　**使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

１．授業題目：ヴェーダ文献研究

２．Course Title (授業題目)：Vedicl Literature

３．授業の目的と概要：本講義では,『リグヴェーダ R̥gveda』 Ⅰ1「Agni 讃歌」及び Ⅰ32 「Indra 讃歌」を取り上げ、読解演習を行う。講読を通じて，文献学の具体的方法習得に努める。Aufrecht が校訂したテキストを用い，Grassmann: Wörterbuch zum Rig-Veda, Mayrhofer: Etymologisches Wörterbuch des Altindoarischen, Gotō: Old Indo－Aryan Morphology, MacDonell: Vedic Gra

４．Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In this course, students will read R̥gveda Ⅰ 1 and 32 mainly based on the text edited by Aufrecht. The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge in Indian philological study with Grassmann: Wörterbuch zum Rig-Veda, MAYRHOFER: Etymologisches Wörterbuch des Altindoarischen, GOTŌ: Old Indo－Aryan Morphology, MACDONELL: Vedic Grammar for Student, DELBRÜCK: Altindische Syntax, etc.

５．学修の到達目標：　リグヴェーダ原典の講読を通じて、文献学の具体的方法習得に努める。インドの宗教、文化、言語の源流を確認するための基礎研究入門を目指す。

６．Learning Goals(学修の到達目標)：By the end of this course, students will be able to

1. acquire fundamental skills of philological study through with reading of the R̥gveda.
2. achieve essential knowledge to understand the origin of religion, culture, and language in India.

７．授業の内容・方法と進度予定：

１　イントロダクション（テキスト及び参考書について，取り上げる題材の概要，予習の進め方，授業の進め方等について説明）

２－６　R̥gveda Ⅰ 1

７－１５　同　Ⅰ 32

８．成績評価方法：

授業への準備状況（30%），授業で示される理解度（70%）

９．教科書および参考書：

R̥gveda-Saṁhitā (Ed. Aufrecht); Grassmann: Wörterbuch zum Rig-Veda, MAYRHOFER: Etymologisches Wörterbuch des Altindoarischen, GOTŌ: Old Indo－Aryan Morphology, MACDONELL, Vedic Grammar for Student; DELBRÜCK, Altindische Syntax; WHITNEY, Sanskrit Grammar,

１０．授業時間外学習：授業は，最初はゆっくり進めるが，後半ではできるだけ多く読み進めることを目標にする。受講者は単語を調べ，語形を確定し，訳すように努力すること。十分な予習が難しい場合は，授業内容をしっかりノートに書き込み復習すること。

Students are required to prepare for the assigned part of the designated textbook for each class. They are also required to make a thorough review.

１１．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

１２．その他：

履修にはサンスクリット語初級の知識を必要とする.

Knowledge of essential Sanskrit Grammar is prerequisite.

科目名：インド学演習／ Indological Studies (Seminar)

曜日・講時：後期 火曜日 ５講時

セメスター：6 **単位数：**2

担当教員：西村　直子

コード：LB62504,　**科目ナンバリング：**LHM-PHI311J,　**使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

１．授業題目：ヴェーダ文献研究

２．Course Title (授業題目)：Vedicl Literature

３．授業の目的と概要：本講義では,『リグヴェーダ R̥gveda』 X 14－16 「Yama 讃歌」を取り上げ、読解演習を行う。講読を通じて，文献学の具体的方法習得に努める。Aufrecht が校訂したテキストを用い，Grassmann: Wörterbuch zum Rig-Veda, Mayrhofer: Etymologisches Wörterbuch des Altindoarischen, Gotō: Old Indo－Aryan Morphology, MacDonell: Vedic Grammar for Stu

４．Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In this course, students will read R̥gveda X 14－16 mainly based on the text edited by Aufrecht. The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge in Indian philological study with Grassmann: Wörterbuch zum Rig-Veda, MAYRHOFER: Etymologisches Wörterbuch des Altindoarischen, GOTŌ: Old Indo－Aryan Morphology, MACDONELL: Vedic Grammar for Student, DELBRÜCK: Altindische Syntax, etc.

５．学修の到達目標：　リグヴェーダ原典の講読を通じて、文献学の具体的方法習得に努める。インドの宗教、文化、言語の源流を確認するための基礎研究入門を目指す。

６．Learning Goals(学修の到達目標)：By the end of this course, students will be able to

1. acquire fundamental skills of philological study through with reading of the R̥gveda.
2. achieve essential knowledge to understand the origin of religion, culture, and language in India.

７．授業の内容・方法と進度予定：

１　イントロダクション（テキスト及び参考書について，取り上げる題材の概要，予習の進め方，授業の進め方等について説明）

２－１５　R̥gveda X 14－16

８．成績評価方法：

授業への準備状況（30%），授業で示される理解度（70%）

９．教科書および参考書：

R̥gveda-Saṁhitā (Ed. Aufrecht); Grassmann: Wörterbuch zum Rig-Veda, MAYRHOFER: Etymologisches Wörterbuch des Altindoarischen, GOTŌ: Old Indo－Aryan Morphology, MACDONELL, Vedic Grammar for Student; DELBRÜCK, Altindische Syntax; WHITNEY, Sanskrit Grammar,

１０．授業時間外学習：授業は，最初はゆっくり進めるが，後半ではできるだけ多く読み進めることを目標にする。受講者は単語を調べ，語形を確定し，訳すように努力すること。十分な予習が難しい場合は，授業内容をしっかりノートに書き込み復習すること。

Students are required to prepare for the assigned part of the designated textbook for each class. They are also required to make a thorough review.

１１．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

１２．その他：

履修にはサンスクリット語初級の知識を必要とする.

Knowledge of essential Sanskrit Grammar is prerequisite.

科目名：インド仏教史演習／ History of Indian Buddhism (Seminar)

曜日・講時：前期 火曜日 ２講時

セメスター：5 **単位数：**2

担当教員：桜井　宗信

コード：LB52206,　**科目ナンバリング：**LHM-PHI312J,　**使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

１．授業題目：梵蔵対照による Jātakamālā の講読Ⅰ

２．Course Title (授業題目)：Jātakamālā of Āryaśūra ： reading Ⅰ

３.授業の目的と概要： 著名な仏教学僧 Āryaśūra(3～4 世紀頃)の手になる Jātakamālā は,釈尊の前世譚である「本生(jātaka)」より 34 話を取り上げて再構成したサンスクリット文学であり，その高い格調と流麗な言語表現によって知られている。

この授業では著名な「兎の本生」を扱う第 6 話を取り上げ，その梵文原典をチベット語訳とも対照させながら講読し，“梵蔵２書を比較対照しつつ文献を読み進める”というインド仏教文献を扱う際の基本的方法を学ぶことを目的とする。

４．Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The Jātakamālā of Āryaśūra is a collection of thirty four jātaka tales written by Sanskrit, and is very famous for its elegant and refined style.
In this course we will be reading Sanskrit and Tibetan texts of the Jātakamālā(Ch.6), which serves students to get a basic skill on studying Indian Buddhist Literatures, i.e. the comparative study of Sanskrit-Tibetan texts.

５．学修の到達目標：サンスクリットで記された仏典の読解力を向上させるとともに，重要な術語に関する正確な知識を習得する。

６．Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students deepen the ability of reading Sanskrit Buddhist literatures, and obtain correct knowledge about some fundamental and important technical terms on Indian Buddhism.

７．授業の内容・方法と進度予定：

1. Jātakamālā 講読-１-
2. Jātakamālā 講読-2-
3. Jātakamālā 講読-3-
4. Jātakamālā 講読-4-
5. Jātakamālā 講読-5-
6. Jātakamālā 講読-6-
7. Jātakamālā 講読-7-
8. Jātakamālā 講読-8-
9. Jātakamālā 講読-9-
10. Jātakamālā 講読-１0-
11. Jātakamālā 講読-１1-
12. Jātakamālā 講読-１2-
13. Jātakamālā 講読-１3-
14. Jātakamālā 講読-１4-
15. Jātakamālā 講読-１5-

８．成績評価方法：

授業・発表への取り組み (100%)

９．教科書および参考書：

用いる基本資料は次の通り：

・ 梵文原典：Jātakamālā (Buddhist Sanskrit Texts No.21), Darbhanga, 1959.

・チベット語訳：デルゲ版及び北京版を使用.

※ 邦訳としては次が有る：

干潟龍祥・高原信一訳,『ジャータカ・マーラー ： 本生談の花鬘』, 講談社, 1990.

１０．**授業時間外学習：**予習時に前記基本資料を訳読すると共に，重要術語の内容確認等を行う。

１１．**実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

１２．**その他：**

・インド学仏教史専修所属学生のみ履修可。

・講読するテクストは受講生との相談により変更の可能性がある。

・事情により「リアルタイム型オンライン形式」で実施する場合がある。

科目名：インド仏教史演習／ History of Indian Buddhism (Seminar)

曜日・講時：後期 火曜日 ２講時

セメスター：6 **単位数：**2

担当教員：桜井　宗信

コード：LB62205,　**科目ナンバリング：**LHM-PHI312J,　**使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

１．授業題目：梵蔵対照による Jātakamālā の講読 Ⅱ

２．Course Title (授業題目)：Jātakamālā of Āryaśūra : reading Ⅱ

３.授業の目的と概要： 著名な仏教学僧 Āryaśūra(3～4 世紀頃)の手になる Jātakamālā は,釈尊の前世譚である「本生(jātaka)」より 34 話を取り上げて再構成したサンスクリット文学であり，その高い格調と流麗な言語表現によって知られている。

この授業では著名な「兎の本生」を扱う第 6 話を取り上げ，その梵文原典をチベット語訳とも対照させながら講読し，“梵蔵２書を比較対照しつつ文献を読み進める”というインド仏教文献を扱う際の基本的方法を学ぶことを目的とする。

４．Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The Jātakamālā of Āryaśūra is a collection of thirty four jātaka tales written by Sanskrit, and is very famous for its elegant and refined style.
In this course we will be reading Sanskrit and Tibetan texts of the Jātakamālā(Ch.6), which serves students to get a basic skill on studying Indian Buddhist Literatures, i.e. the comparative study of Sanskrit-Tibetan texts.

５．学修の到達目標：サンスクリットで記された仏典の読解力を向上させるとともに，重要な術語に関する正確な知識を習得する。

６．Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students deepen the ability of reading Sanskrit Buddhist literatures, and obtain correct knowledge about some fundamental and important technical terms on Indian Buddhism.

７．授業の内容・方法と進度予定：

1. Jātakamālā 講読-１-
2. Jātakamālā 講読-2-
3. Jātakamālā 講読-3-
4. Jātakamālā 講読-4-
5. Jātakamālā 講読-5-
6. Jātakamālā 講読-6-
7. Jātakamālā 講読-7-
8. Jātakamālā 講読-8-
9. Jātakamālā 講読-9-
10. Jātakamālā 講読-１0-
11. Jātakamālā 講読-１1-
12. Jātakamālā 講読-１2-
13. Jātakamālā 講読-１3-
14. Jātakamālā 講読-１4-
15. Jātakamālā 講読-１5-

８．成績評価方法：

授業・発表への取り組み (100%)

９．教科書および参考書：

用いる基本資料は次の通り：

・ 梵文原典：Jātakamālā (Buddhist Sanskrit Texts No.21), Darbhanga, 1959.

・チベット語訳：デルゲ版及び北京版を使用.

※ 邦訳としては次が有る：

干潟龍祥・高原信一訳,『ジャータカ・マーラー ： 本生談の花鬘』, 講談社, 1990.

１０．**授業時間外学習：**予習時に前記基本資料を訳読すると共に，重要術語の内容確認等を行う。

１１．**実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※〇は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"〇"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

１２．**その他：**

・インド学仏教史専修所属学生のみ履修可。

・講読するテクストは受講生との相談により変更の可能性がある。

・事情により「リアルタイム型オンライン形式」で実施する場合がある。